

平成28年度南湖ホンモロコ標識種苗放流事業 実績報告書

1. 事業実施状況

(1) 事業実施方針

協会は、南湖ホンモロコ標識種苗放流事業において、水草刈取りによる環境改善効果等を判定するため、標識した全長 20 mm のホンモロコをモデル地域である下笠地先へ放流することを目的とする。

(2) 事業実施結果の概要

- ・生産については、一部を山田漁協に再委託して実施した。
- ・採卵は 4 月 19 日～5 月 3 日に、採卵基体には、遮光シート枠を用いて自然採卵により行い、目測で 4～5 万粒／枠の産着を確認できたものより随時回収した。また、5 月 8 日に産卵した水産試験場由来の卵を一部使用した。
- ・回収した採卵基体は速やかに網イケスに収容して適切に管理し、協会産卵分よりふ化仔魚 4,560 千尾、水試採卵分より 494 千尾を種苗生産に使用した。
- ・得られたふ化仔魚は、17 日目まで天然プランクトン、途中ふ化後 8 日目から配合飼料を併用で与えて飼育した。
- ・47～60 日間飼育し、歩留りは平均 20% で、平均全長 27.0 mm のホンモロコ稚魚 1,012 千尾を得た。
- ・生産した種苗は、6 月 28、30 日に取上げを行い、1,012 千尾に全てに ALC 標識を施して草津市下笠地先に放流した。

(3) 事業実施期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日まで

(4) 担当者

(公財) 滋賀県水産振興協会 田中 満

2. 添付書類

(1) 事業結果

放流種苗生産結果

平均全長 27.0 mmの稚魚を 1,012 千尾放流した。種苗生産の結果を表. 1 に示す。

放流種苗には水草刈取りによる環境改善効果等を判定するために、全て ALC1 重標識を施したのち、モデル地域である草津市下笠地先に放流した。

今年度は、種苗生産時に雨が少なく、湖水の入れ替わりがなかったため、病気が発生しても治まるまでに時間がかかり、大量の斃死につながった。そのために、山田採卵分の種苗では放流尾数に届かなかったため、一部親魚養成用に水試天然親魚より採卵し、飼育した種苗を放流に流用した。

表. 1 放流種苗飼育結果

区分	採卵日	稚数	ふ化日	取上日	日数	収容尾数 (千尾)	取上尾数 (千尾)	取上げ重量 (kg)	全長 (mm)	歩止り (%)	備考
1	4月19日	54	4月29日	6月28日	60	2,160	635	50.78	27.0	29	
2	5月1日	59	5月7日	6月30日	54	2,400	285	22.70	27.0	12	
3	5月8日	32	5月14日	6月30日	47	494	92	7.31	27.0	19	水試卵
合計		145				5,054	1,012	80.79	27.0	20	

(2) 事業実施写真



産卵基体(遮光シート)



親魚養成風景



採卵作業



着卵状況



ふ化仔魚



網替え



汚れた網



プランクトンの採集



プランクトン給餌



取上げ作業



標識作業



放流